

# 大桑 第64号 3月号 まさたか



さかえく せかい か  
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市会議員2期目

よろしくお願ひします！

## 市会議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑**まさたか**の政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

## 桂町戸塚遠藤線

桂町戸塚遠藤線(地球市民プラザやフジスーパーなどの前の道路)の小菅ヶ谷舞岡地区(飛石交差点周辺から北本郷台バス停周辺)と上倉田地区(明治学院大学南門バス停周辺)が3月24日(月)の14時に開通する予定となっています。これにより栄区方面から戸塚方面に抜ける道路がまた一つ増えることとなります。また、開通前日の3月23日(日)は式典や開通イベント(模擬店など)が開催される予定となっています。ご近所の方は足を運んで頂ければと思います。

一方で、この道路が開通することにより栄区本郷台5丁目にある赤坂公園あたりに新たに道路を接続することとなります。新たな道路が住宅地に接続することにより安全面などで心配される部分も出て来ておりますが、できる限りの安全対策を検討するよう横浜市にお願いをしておりますのでご理解頂ければと思っております。

## 大桑新聞

第64号(3月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市会議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TLE : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okawa.net/>

E-mail : [m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市会議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市会議員 2期目当選

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

(ママとグリはそれぞれの実家にいます)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

## 1月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成19年度1月現在の政務調査費累計残高は **183,241円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	5,000円	書籍代等	0円
大桑新聞印刷代等	131,109円	文具費等	1,050円
勉強会代等	7,000円	新聞代	7,170円
通信費	25,370円	事務所費等	143,093円
交通費	115,410円	道路使用料(1月分)	4,000円

1月の支出合計は

**439,202円**です。

### 近況報告

平成20年第1回定例会が2月13日(水)から始まっていますが、3月25日(火)まで平成20年度予算の審議は続きます。

次に、私の事務所についてですが、毎日、24時間事務所に人がいる体制を作ることにはできませんが、平日の11時頃から15時頃まではなるべく人がいるような体制を作るようにしております。御用のあるかたは上記の時間に事務所にご連絡頂ければと思っております。よろしくお願いいたします。

### 政務調査費

横浜市会は平成20年4月から政務調査費について透明性を高めるために領収書の公開などを義務づけることにしました。

また、それにともない政務調査費の使い道が細かく制限されるようになります。その制限の内容ですが、たとえば、特定の党のための広報や事務所などに簡単に政務調査費を使えなくなります(私は無所属ですので当てはまらない点もあります)。もしその広報や事務所に市会議員としての活動が見て取れるようであれば政党活動と市会議員の活動の比重で、政務調査費から支出できる金額が決まります。これもたとえばですが、広報費に10万円かかったとして、広報の内容が50%ずつだとすると政党活動分5万円、市会議員活動分5万円などとなります。

最後になりますが、私は今後も大桑新聞で政務調査費の使い道を公開し続けます。

### 新市庁舎整備

現在、横浜市は新市庁舎を整備するために北仲通南にある土地を取得しようとしています。土地の取得には約170億円かかります。

横浜市が新市庁舎の整備を進める主な理由は現在の市庁舎が建設から50年経過し建物の老朽化が進んでいること。

また、現在の市庁舎では業務スペースが足りず、毎年、民間ビルを借りる賃料として約20億円かかっていることなどがあります。

今回の土地の購入は新市庁舎整備に向けた土地の購入であり、北仲通に新市庁舎を整備するのか、今ある場所に新市庁舎を整備するのかは決まっていません。

### 敬老パス(敬老特別乗車証)について

先月号で、敬老パスの値上げについて書かせて頂きましたが、今後の敬老パスの方向性について書ききれなかったので、ここで少し付け足させて頂きます。

今後の敬老パスについてですが横浜市は、なるべく早い時期にICカードを導入し利用回数に上限をもうけるなどとしております。利用回数の制限などはこれから本格的な議論になると思います。この件についてはまたご報告致します。